

JAPAN FEDERATION FOR MENTAL HEALTH AND WELFARE



公益社団法人 日本精神保健福祉連盟

公益社団法人 日本精神保健福祉連盟の歩み

当連盟は、1953年に8団体が参加して「日本精神衛生連盟」として創立されました。1970年に社団法人として正式に認可され、1986年には「社団法人日本精神保健連盟」と改称、さらに2003年に「社団法人日本精神保健福祉連盟」と改称され、2012年4月1日をもって「公益社団法人日本精神保健福祉連盟」となり、現在11団体で構成されています。

公益社団法人として、連盟結成当時より「精神保健福祉に関する正しい知識を普及させて、ノーマライゼーションの実現を目指す」という一貫した目的のもと運営されており、日本における精神保健福祉諸団体との連携を密にし、その協力により、精神保健福祉の向上をはかっているところです。

主要な事業内容として、今まで引き継がれている精神衛生全国大会（現、精神保健福祉全国大会）の開催、および精神保健福祉事業功労者に対して厚生労働大臣表彰等の表彰を行っているところです。

また、1974年から「広報誌」を年1回発行し、1996年からは「連盟だより」を刊行し、現在は年3回発行しています。

さらに、1994年から精神障がい者のスポーツ振興に力を注いでおり、精神障がい者におけるバレーボール、フットサル、バスケットボール、卓球等のスポーツ推進事業に取り組んでいるところです。

そして、2023年には連盟創立70周年を迎えました。これを記念して、有森裕子氏（元プロマラソン選手）、島薗進氏（宗教学者）の特別講演をはじめ、連盟構成団体の紹介をオンラインで配信し、大変好評を得ることができました。

今後とも、当連盟は、公益目的事業を行う法人運営の重要性に鑑み、さらなる精神障害者の精神保健福祉の向上及び普及啓発に尽力していく所存です。

皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■ 連盟の目的及び事業内容

当連盟は、日本における精神保健福祉団体との連絡を密にし、その協力により、精神保健福祉の向上をはかることを目的として次の事業を実施しています。

- ①精神保健福祉全国大会の開催及び精神保健福祉事業功労者の表彰
- ②精神障害者スポーツの振興事業
- ③精神保健福祉に関する調査研究並びに資料の収集及び情報の交換
- ④精神保健福祉に関する広報
- ⑤世界精神保健連盟との提携

■ 連盟の概要

名 称 公益社団法人 日本精神保健福祉連盟

所在地 〒108-0023 東京都港区芝浦3丁目15番14号

会員数 正会員11（団体）

賛助会員191（団体）

46（個人）

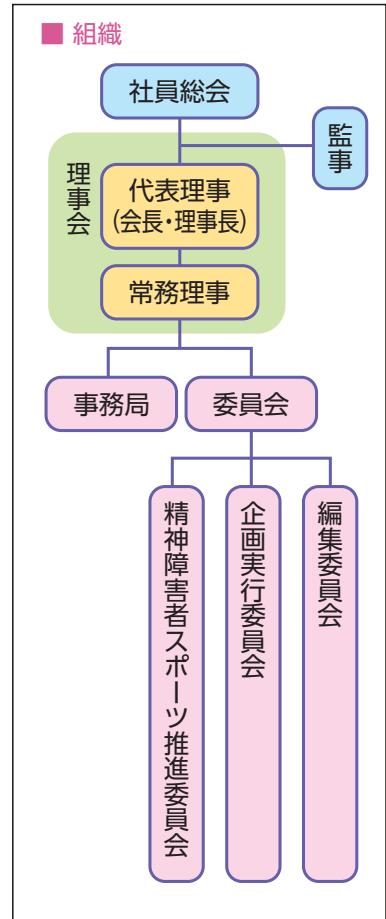
歴 史 1953年 日本精神衛生連盟創立

1970年 社団法人認可

1986年 社団法人 日本精神保健連盟 と改称

1997年 社団法人 日本精神保健福祉連盟 と改称

2012年 公益社団法人 日本精神保健福祉連盟へ移行



■ 業務の概要

①精神保健福祉全国大会の開催及び精神保健福祉事業功労者の表彰

当連盟は、毎年1回厚生労働省と共に精神保健福祉全国大会を主催しています。本大会は、精神保健福祉に賛同する人々が集まり、誰でも参加できる大会です。1953年に開催した第1回大会以来70年、精神保健福祉に関する正しい知識の普及を図るとともに、ノーマライゼーションの実現に向けて極めて重要な「多様性社会」を推進する大きなイベントとして毎年開催されており、その意義が高まってきています。

- 記念式典(表彰)
- アトラクション
- 記念謁演
- シンポジウム

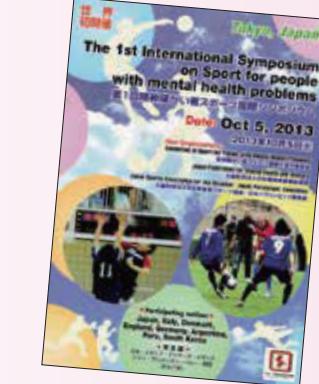


②精神障がい者スポーツの振興

1999年より連盟内に設置されました「精神障がい者スポーツ推進委員会」（大西守委員長）が中心となって、精神障がい者スポーツ振興をはかってきたところです。2001年に第1回全国精神障害者バレー大会が開催されたのを皮切りに、その後2008年に大分県で開催された全国障害者スポーツ大会から精神障害者バレーが正式競技となり、身体障害・知的障害と共に三障害合同での全国大会が実現されました。さらに2019年より精神障害卓球が個人競技として実現されました。それ以外にも、精神障がい者フットサル、精神障がい者バスケットボールなども着実に活動の輪を広げているところです。

精神障害者スポーツを取り巻く国際的な環境を見ますと、精神障がい者スポーツの国際化が遅れを取っていると言わざるを得ない状況にありました。日本において国際化が本格的に取り組まれるようになったのは、2011年3月のことで、日本の精神障がい者フットサルチームがイタリアに遠征し親善試合が行なわれました。その後、2013年東京において第1回精神障がい者スポーツ国際シンポジウム、国際会議が開催され、2016年には、大阪堺市において第1回ソーシャルフットボール国際大会が開催されるまでになりました。ヨーロッパ、南米、アジアのチームが参集しての日本での開催は、精神障害者スポーツの国際化において輝かしい出来事と評価しております。

コロナ禍で1年延期された東京パラリンピック競技大会が、2021年に原則無観客で開催されたことは記憶に新しいところです。精神障害者の正式競技はありませんでしたが、障害者スポーツの意義に理解と関心が集まり、精神障がい者スポーツのますますの発展が期待されるところです。



③精神保健福祉に関する調査研究

当連盟に設置されている「企画実行委員会」を中心に、厚生労働省等から助成を受けて、精神保健福祉に関する調査を実施し、手法やノウハウの研究を行っています。その際、必要により外部からの専門家を含むワーキンググループを編成し、より専門性の高い調査研究を目指しています。

- 厚生労働省（障害者総合福祉推進事業）



④精神保健福祉に関する広報

当連盟は、「広報誌」を年1回、「連盟だより」を年3回発行し、精神保健福祉団体等に配布しています。また、精神保健福祉全国大会において関係者及び一般の参加者に配布するなど、精神保健福祉に関する普及啓発並びに連盟の活動状況の周知等に努めています。また、HPにおいても適宜情報提供に努めています。

- 出版物の企画・編集・作成・配布



■ 正会員（11団体）

公益財団法人 日本精神衛生会
公益社団法人 日本精神科病院協会
公益社団法人 復光会
公益社団法人 矯正協会
一般社団法人 全国精神保健福祉連絡協議会
公益社団法人 全日本断酒連盟
一般社団法人 日本精神科看護協会
公益社団法人 アルコール健康医学協会
公益社団法人 日本精神神経科診療所協会
公益社団法人 日本精神保健福祉士協会
一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会

会 費（賛助会員）

毎年4月1日から始まり、翌年3月31日までを事業年度としています。

【年会費】

個人 一口 5,000円以上
団体・法人 一口 30,000円以上

※ 年度途中のご入会も当該年度分を一括納入して頂きます。

入会方法

「賛助会員入会申込書」に記入の上、FAX又は郵送にて直接連盟事務所へ届け出下さい。なお、賛助会員のこ案内と「会員入会申込書」は本連盟ホームページからPDFでダウンロードできます。



問合せ先

公益社団法人 日本精神保健福祉連盟

住所 〒108-0023

東京都港区芝浦3-15-14

(日精協会館内)

電話 03-5232-3308

FAX 03-5232-3309

E-mail office-renmei@f-renmei.or.jp

<http://www.f-renmei.or.jp>

